全調政連 ニュース　No. 2025-02

R７．６．25　　発行責任者　幹事長　久保田英裕

全国土地家屋調査士政治連盟ホームページ https://zenchoseiren.net

骨太の方針 2025

～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～

「経済財政運営と改革の基本方針 2025」について令和7年6月13日閣議決定されました。、令和7年4月24日の自由民主党土地家屋調査士制度改革推進議員連盟の開催に合わせ、日本土地家屋調査士会連合会と全国土地家屋調査士政治連盟が提出した「予算・政策要望書」冒頭に記された

1　法務局地図作成事業（不動産登記法第14条第1項地図）の推進について

2　地籍調査事業の推進について

今年もしっかりと本文中に記載されています。（以下、原文から抜粋）

【　4　戦略的な社会資本整備の推進　】（持続可能な土地及び水資源の利用・管理）

「持続可能な土地の利用・管理の実現に向け、非宅地化を含む土地利用の円滑な転換に取り組む。**地方公共団体への後押しを含め、防災性向上や地方創生に資する空き家対策について、改修・流通促進などの総合的な取組と、相続・住所氏名変更登記義務化の周知・体制強化や地籍調査・法務局地図作成を含む所有者不明土地等対策** [265] **とを一体的・総合的に推進する。**公的土地評価を支える不動産鑑定業の担い手確保に取り組む。マンションの管理適正化と再生円滑化を推進する。住宅ローンに関し、固定金利型の利用円滑化に取り組むなど、金融環境の変化に対して総合的に対応する。」

土地家屋調査士制度の改革・発展の進捗は、議員連盟の活動成果が大きく反映されてきました。一昨日は議連事務局次長豊田俊郎参議院議員の総決起大会が行われています。土地家屋調査士が一致団結して、豊かな土地家屋調査士制度を守っていきましょう。


豊田俊郎 総決起大会
自民党
最高顧問
麻生太郎
自民党
自由民主党